



<ひとこと>船橋生まれの野田総理。実は、劇団一人も船橋出身。意外な共通点ですね…。

## 障害者虐待防止に関する勉強会

8月12日に上記勉強会が柏市・柏市自立支援協議会の共催で開催されました。ちょうど障害者虐待防止法が成立したタイミングもありましたが、柏市内の事業所で起こった虐待事件が今回の管理者向け勉強会と現場職員向け勉強会(2回)を計画したきっかけでした。この事件の解明と解決や改善もきちんと行われなければなりません。虐待そのものとはどこでも誰でも起こり(起こし)うること、という認識が必要だと考えます。

今回の勉強会の講師である佐藤彰一弁護士の話でも、虐待はいたるところで起こる、関わる人のレベルはあまり関係ないと言われました。そのほか、  
・家族の虐待が数字的には多い  
・施設は直接の虐待者(職員)の責任だけではなく、背景事情に踏み込む必要がある。  
・高齢者虐待とほぼ同じだが、養護者・施設従事者に加え、使用者も入っている。  
・心理的虐待には施設と使用者に限り、「不当な差別的言動」

も明記された。  
・早期発見義務では国と自治体の障害者関係機関にあると明記した。  
・ネグレクトの定義につき、施設と使用者は利用者同士の身体的・性的・心理的虐待を防止しないことも虐待に含まれることになった。

障害者虐待防止法の特徴的なところの説明や、相互支援の環境作りなどの話があり大変有意義でした。  
今回は、事業者向けの勉強会

でしたが、今後も、虐待とは何かを理解するための勉強会や具体的な視点を持つて考えていく仕組みづくりが必要だと感じています。

## 障害のある子どもたちの福祉制度について

全日本手をつなぐ育成会機関誌「手をつなぐ」編集委員、「発達障害白書」の編集委員もされている又村あおいさんの研修があり参加してきました。

障害者自立支援法が平成25年8月12日に廃止され、新たに「障害者総合福祉法制定が予定されています。ただ、それまでの間現在の自立支援法がそのままではなく改善が施されることになっておりその内

容について解説がありました。以下主な改定点を挙げますと  
・利用者負担が「1割負担」から「所得による自己負担ただし1割限度」に  
・障害福祉サービスと補装具の利用者負担が合算できること  
に(実質利用者負担軽減の可能性)

・相談支援事業が個別給付化、さらに給付対象となる支援が拡大↓それにより相談者の受けるサービスの量と質の向上が見込まれる

・グループホーム、ケアホームの家賃助成制度新設  
・成年後見制度の利用拡大  
・児童デイ利用が18歳未満から20歳未満の特例を設定(放課後デイは小学校、高校に在籍している子どもが対象に)

・地域の幼稚園が保育所に通う子どもを支援するための「保育所等訪問支援」創設等々です。  
最後に、障害のある子どもが

障害福祉サービスを利用するメリットについて又村さんから熱のこもった説明がありました。

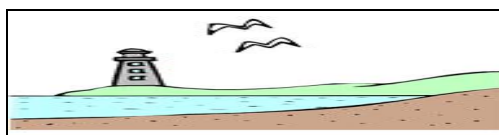
①高校(高等部)卒業後にサービスを利用するケースが多いが、そのための利用方法体得などの準備として

②サービスを利用することにより、そのニーズがあることを行政に表す

③サービスを利用することで社会経験(人が並んでいる中で切符を買う等)をより多く積むことができる

④将来の進路を考える上で、家庭と学校以外での子ども様子が分かりより多面的に将来を考えることができる

子どもの可能性は大きいですが、環境によって好い意味で変化することも多いかと思えます。早い段階からのサービス・支援機関との繋がりが有効だと感じました。



## あすなる学校

あいネットに寄せられた情報を紹介します。

・あすなる学校  
人と動物が共存するあたたかい社会を目指し、日本サムスンと、公益財団法人・日本補助犬協会が設立した、世界で初めての聴導犬育成による若者自立支援施設です。2008年

5月に横浜市で開校しました。

### 若者の自立支援

入学対象となる若者は、フリースクール、児童養護施設などを卒業し、様々な事情で社会自立を求めている18歳から30歳の青少年。犬から信頼される喜びとそれに伴う責任など、多くのことを学ぶとともに仲間同士からも良い刺激を受けることが期待できます。

### 聴導犬

聴導犬とは、聴覚障害者の生活を安全で安心できるものにするために、生活に必要な音を教え、音源に導く、身体障害者補助犬のこと。

現在、全国の聴覚障がい者数は36万人と言われていますが、聴導犬は30頭しか実働していません。一方で、ペットとして飼われていた犬たちが全国で年間9万頭も保護されています。(文・画パンフレット参照)

<詳しくは下記にお問い合わせください>

あすなる学校連絡先/願書送付先

電話: 045-951-9221 FAX: 045-951-9222

E-Mail: [hojyoken\\_asunaro@ybb.ne.jp](mailto:hojyoken_asunaro@ybb.ne.jp)

住所: 〒241-0811

神奈川県 横浜市 旭区 矢指町 1954-1

[http://hojyoken.com/main/?page\\_id=427](http://hojyoken.com/main/?page_id=427)



# 社会福祉法人ワナーホーム・わたげワークス



北柏駅南口から徒歩 15 分、慈恵医大となりのローソン前に 2011 年 8 月に開設した社会福祉法人ワナーホーム「わたげワークス」があります。就労支援員の田中さんにお話を聞きました。

**Q**・・・どんな場所ですか？

\*ここは、就労継続支援 B 型事業と就労移行支援事業を行っています。就労継続 B 型では、天然パン酵母・ペジーブルを行っています。メンバーはパン作りの工程のすべてに関わります。生地は無添加で、心と体に優しいパンを心をこめて焼いています。就労移行支援事業では、メンバーがたんぼぼホールの管理・運営、ペジーブルの経理、事務、広報、マーケティングを行っています。

**Q**・・・どんな方が通っていますか？

\*平均は 30 歳位、男女比は同じ位ですね。自力通所、服薬管理の出来る方が主に通っています。

**Q**・・・わたげワークスが大事にしている事は何ですか？

\*自分らしく生きる事を尊重したいと思っています。出来るだけ多くの作業内容を用意して、やりたい、やれる仕事の提供をしています。本人が望む働き方（ペースや時間）も本人が選択出来るようにしています。

**Q**・・・最後に一言お願いします。

\*ここは、メンバー自身、メンバー同士が助け合って活動しています。ペジーブルはメンバーが頑張っているパン屋です。楽しい事業所なので、興味のある方、パンを食べに来て下さい。

☉ペジーブルのパンは、生地がもちもちしていてとてもおいしいです。種類が豊富で食べたいパンが見つかります。また、接客してくれる方の笑顔がとても素敵です。

ペジーブルは、メンバーみんなで作上げた優しい雰囲気があります。スタッフは一步下がったところからメンバーを見守り、それぞれの自立を応援していると感じました。

## おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707FAX:04-7165-8709)まで◇

| 講演名  | 日時   | 場所  | 費用                                    | 申込み              | 問合せ先他   |
|--|--|---|---------------------------------------|------------------|---|
| PAC ガーディアンズ 定例勉強会のお知らせ<br>講師：野澤 和弘 氏<br>(毎日新聞論説委員)   | 10/9 (日)<br>10:00<br>~12:00  | 千葉市社会福祉協議会中央区事務所会議室(きぼーる 中央保健福祉センター 11 階) | 500 円<br>(参加費)<br><br>賛助会員<br>無料      | 必要               | 申込み先:<br>Mail: info@pacg.jp<br><br>FAX: 047-407-4860<br>(※名前・電話番号・所属等記入)  |
| アロマボランティア養成講座<br>講師：長谷川 記子 先生<br>(薬剤師/アロマセラピスト)  | 10/29(土)<br>11/29(土)<br>の 2 日間<br>13:00~17:00<br><br>※必ず 2 日間受講<br>願います! | けやきプラザ<br>7 階(我孫子駅前)                      | 3000 円<br>(別途 本代<br>+ オイル代<br>2000 円) | 必要<br>定員<br>25 名 | 問い合わせ: 申込み:<br>NPO 法人ホスピスケアを広める会<br><br>TEL/FAX: 04-7163-0634<br>受付時間 月~金曜日 10 時~12 時<br><br>E-mail:<br>zaitakucare04@jcom.home.ne.jp |
| 心の健康フェア in ちば<br>CHALLENGE! ~Challenge の中には Change がある~<br>講師：市来 真彦 氏<br>(東京医科大学茨城医療センターメンタルヘルス科 科長) | 11/2(水)<br>10:00~15:10<br><br>(手話通訳有り)                                   | 青葉の森公園<br>芸術文化ホール                         | 無料                                    | 不要               | 問い合わせ:<br>千葉県健康福祉部障害福祉課<br>TEL: 043-223-2334<br><br>千葉県精神保健福祉センター<br>TEL: 043-263-3891<br><br>主催: 千葉県・NPO 法人千葉県精神保健福祉協議会              |